

病院長	地域医療連携部長	看護部長	事務部長	医療連携室課長

## 2022年度 第1回地域医療支援運営委員会議事録

日時 2022年5月26日（木）14:00～15:00

場所 藤田医科大学岡崎医療センター大会議室1 / ハイブリッド形式

司会 曾根将之

出席者 【院外】(Zoom) 三治宏司、高村俊史、片岡博喜、渡部真法、  
(来訪) 野本功、鈴木勝久

【院内】鈴木克侍、有嶋拓郎、小島菜保子、濱野和治、曾根将之

欠席者 【院外】金澤一徳

(敬称略)

### 1. 開会

#### ・病院長より挨拶

開院1年目は赤字であったが、2年目は黒字に転換した。皆様からの意見を糧にして地域医療に貢献した結果であると考えている。今年度も引き続き意見を賜りたい。(鈴木)

#### ・委員紹介

##### 【病院長 鈴木克侍】

2022年12月頃に地域医療支援病院の承認を目指している。昨年、当委員会にご出席いただいた外部委員の方には具体的なご意見をいただき感謝している。引き続き今年度も当委員会を開催予定であるため、より良い病院にしていくため協力いただきたい。

##### 【副院長/地域医療連携部長 有嶋拓郎】

地域医療支援運営委員会も2年目になり、新しい委員もお迎えして開催できることを感謝している。

##### 【副院長/看護部長 小島菜保子】

患者さんからの良い意見、悪い意見もお聞かせ願いたい。

##### 【事務部長 濱野和治】

病院の紹介はじめ、さまざまな情報を共有させていただきたい。

##### 【地域医療連携部医療連携室課長 曾根将之】

より良い連携を図っていききたい。

##### 【岡崎市医師会理事 三治宏司】

さんじファミリークリニックの院長で岡崎医療センターにお世話になっている。

##### 【岡崎歯科医師会副会長 渡部真法】

昨年に引き続き今年度もよろしく願いたい。

##### 【岡崎薬剤師会会長 高村俊史】

昨年より当委員会に参加させていただいている。今後も意見を述べていきたい。

##### 【岡崎市保健所所長 片岡博喜】

2022年4月より岡崎市保健所長に拝命された。出来る限り力添えしたい。

##### 【岡崎市立岡崎小学校校長 鈴木勝久】

2022年4月より岡崎市立岡崎小学校に赴任した。前任の小田校長より当委員会のことは引継ぎを受けている。精一杯努めていくため、よろしく願いたい。

【岡崎学区柱六丁目総代会副会長 野本功】

昨年より当委員会に参加させていただいている。今年度もよろしくお願ひしたい。

2. 当院からの報告（資料①）

・資料①の通り。

病院紹介、前方/後方連携の実績、救急医療提供の実績、地域の医療従事者に対する研修活動、当院からのお知らせを報告した。（有嶋）

3. 各委員からご意見ご要望等

【岡崎市医師会理事 三治宏司】

・逆紹介率が低い。昨年度に聞いた際は原因不明と回答いただいたが、その後判明したことはあるか。また、岡崎医療センターへ紹介した患者に対して、岡崎医療センター医師が専門医への受診が必要と伝え他医療機関へ紹介したことで、患者がさんじファミリークリニックに受診しなくなったことがあった。（三治）

→紹介ではない初診患者数が増加していることで逆紹介率が減少していると考え。岡崎医療センターが専門医として診療することが筋であるため、医師へ教育する。今後同様なことが発生した際にご連絡いただきたい。岡崎医療センターとしては紹介いただいた患者を寛解して逆紹介することを目指しており、初回返書や退院返書の作成を徹底する取組みを行っているため逆紹介率が上がっていくと考えている。（鈴木）

→4割の患者が救急科を受診しているが、初回返書は100%である。しかし、逆紹介率に含まれないため、岡崎市民病院と比べると岡崎医療センターの逆紹介率は低いと考える。（有嶋）

→初回返事は受診したことの連絡であるか。治療を終えた報告書とは別か。（三治）

→6割の患者が一時的に受診した患者であり、初回返書のみになっているケースが多く逆紹介率を低下させていると考える。鈴木病院長が申す通り、症状が落ち着いた患者は、紹介元医療機関へ逆紹介していくよう努める。（有嶋）

・盲腸疑いの患児を紹介した際、小学生～15歳以下は小児科で対応可能であるが、小学生以下は対応できないと言われ、鼠径ヘルニアの患児は外科へ紹介いただき、4歳～15歳までは対応可能と説明を受けたが、現在も変更はないか。（三治）

→患児の虫垂炎をお断りした事例は報告を受けており、指導済みである。昨年度までは、小児科の救急体制が不十分であったため、熱性痙攣や急性腹症を断るケースがあった。しかし、今年度は救急体制を整えたため受け入れ可能である。岡崎医療センターで一度受け入れして、対応が難しい場合は、藤田医科大学病院へ紹介することが原則である。なにか不手際があれば、ご連絡いただきたい。（鈴木）

→鼠径ヘルニアの患児は小児科へ紹介しても良いか。（三治）

→小児科へ紹介いただきたい（鈴木）

【岡崎歯科医師会副会長 渡部真法】

・第13回地域医療支援研修会に参加させていただいた。今後もできる限り参加したい。登録医制度は歯科医師も参加可能と伺ったが、参加方法を教えていただきたい。（渡部）

→連携を図るために歯科医師でも参加いただきたい。医療連携室までご連絡いただければ医療連携室の事務員が直接案内、もしくは書類を郵送する。岡崎歯科医師会へ書類を郵送しても良いか。（曾根）

→岡崎市民病院の登録医に岡崎歯科医師会会員も登録していたが、岡崎市民病院から登録医を

2022年8月3日

再登録する話をいただき、登録医証をいただいた。岡崎歯科医師会はどのようにすれば良いか。(渡部)

→岡崎医療センターの登録医制度に岡崎歯科医師会会員が登録いただくことは大歓迎である。

曾根から岡崎歯科医師会へ案内する。(鈴木)

→よろしく願いしたい。(渡部)

#### 【岡崎薬剤師会会長 高村俊史】

・広報誌を発行していると伺ったが、定期的に岡崎薬剤師会にも送付いただきたい。(高村)

→今まで岡崎薬剤師会へ送付しておらず申し訳ない。直近の広報誌をお送りするとともに、今後は広報誌をお送りするため、曾根から岡崎薬剤師会へ案内する。(鈴木)

→大変ありがたい。よろしく願いしたい。(高村)

#### 【岡崎市保健所所長 片岡博喜】

・地域医療支援病院の項目である共同利用実績が必要と理解しているが、今回は触れられていなかったため、今後は共同利用実績をご報告いただきたい。開放型病床の利用実態も報告がなかったため、今後は必ず報告いただき、地域医療支援病院を申請する際は必要書類をご準備いただきたい。

→共同利用実績を報告することを失念していた。岡崎医療センターの施設を共同利用いただきたい。(鈴木)

→今年度、地域医療支援病院を申請予定である。開放型病床を5床設置しており、コロナの影響で実績は1例ほどである。次回以降は必ず報告する。(曾根)

#### 【岡崎市立岡崎小学校校長 鈴木勝久】

・初めて地域医療連携ガイドブックを拝見し、24時間365日救急患者を受け入れていただけることは大変心強い。昨年度、岡崎医療センターの職員が岡崎小学校で講演いただいたことを聞いており、今年度もお願いしたいと考えている。医療専門の方からコロナウイルスや熱中症などの対策を示していただけるとありがたい。

→ダイヤモンドプリンセス号受入れにより岡崎小学校から感謝状をいただき、非常に励まされた。岡崎小学校児童の成長の一助になり、今後も岡崎小学校と良いお付き合いをしたいと考えている。(鈴木)

#### 【岡崎学区柱六丁目総代会副会長 野本功】

・地域住民から岡崎医療センターに入院したことをよく聞く。診療実績が上昇しているのを拝見し岡崎医療センターが努力していることが分かる。

→お褒めの言葉をいただき感謝する。厳しい意見もいただき改善につなげていきたいため遠慮なく言っていただきたい。コロナウイルスワクチン接種の状況について、2022年3月より3回目の接種を1日500名で開始したが、実際200~300名程であった。そのため、5月30日より20時から17時に短縮した。1回目2回目のワクチン接種で合計16万件接種したが、3回目のコロナウイルスワクチン接種では減少した。2022年4月より心臓血管外科が開始し、9月より手術が開始できるよう調整している。外来診療は行っているため、慢性疾患の患者は紹介いただきたい。2022年4月より地域災害拠点病院に指定されており、今後も地域に貢献していきたい。(鈴木)

2022年8月3日

#### 4. 閉会

- ・曾根より閉会の挨拶
- ・次回以降の開催予定日は以下の通り。

第2回地域医療支援運営委員会	2022年8月25日(木)	14:00~15:00
第3回地域医療支援運営委員会	2022年11月24日(木)	14:00~15:00
第4回地域医療支援運営委員会	2023年2月16日(木)	14:00~15:00

以上

文責：市川・浅野